

# 疑問残る「一位不動」の取り扱い **公正・公平な入札こそ大事**

## 有田区の新小学校校舎・体育館等の工事請負契約

春日新田小学校が過大な規模となっているため、同校の学区を一部分離して小猿屋小学校と統合して新たな小学校を建設する事業が進められてきました。

今年度と来年度でいよいよ校舎や体育館などが建設さ

れ、2018年4月には開校する見通しです。

この学校は、地域住民にとっては待ちに待った学校で、一日も早い開校が求められてきました。日本共産党議員団も、地域住民とともにつくる学校として、住民意

見を生かしたよりよい施設にすることや、できるだけ早く開校することを求めてきました。

今議会には、追加議案として工事請負契約の締結議案が会期中で提案されました。

### 国の認定受け先行議決

この小学校建設事業は、国庫負担金を財源として行う事業で、国や県による事業認定が必要です。市はこの間、国や県に対して一日も早い事業認定を要請してきましたが、6月13日付けで文部科学省から認定の通知が来たとのこと。

大きな施設ですので、工期が560日にも及びます。2018年4月の開校に間に合わせるには、2017年末までの工事終了が必要なため、一日も早い着工が求められることから、会期中に追加提案され、他議案よりも優先的に議決されました。

### 入札には疑問が

4月、5月に行われた工事施工者を決める入札は、校舎棟建設工事、体育館棟・プール建設工事、電気設備、機械設備の4つに分けられ、すべて制限付き一般競争入札で行われました。

このうち校舎棟建設工事、体育館棟・プール建設工事については、いずれも全く同じ4つの共同企業体だけが応札しており、日本共産党議員団はいくつか疑義があるとして質問しました。

問題にしたのはまず、高い落札率です。校舎棟工事は99.85%、体育館棟・プール工事は98.74%と異常に高い数値でし

た。

また、いずれの入札も複数回に及び「談合の状況証拠」とも言われている「一位不動」(最も安い金額を入れた業者がいつも同じ)が起きたことも問題です。

校舎棟建設工事では、「中田・高館・相村共同企業体」が、体育館棟・プール建設工事では、「大島・田辺・サトウ共同企業体」がそれぞれ3回入札し、いずれも一位でした。

### 「一位不動」は監視の対象

国土交通省は、入札談合の再発防止対策として2005年に通知を出し、「1回目の入札の最低金額入札者が、そのまま2回

目以降の再度入札における最低入札者となる状況が続いている」場合は疑義ありとして、監視対象にしています。「一位不動」は談合を疑うきっかけになる重大な事態です。

### 市は監視せず

上越市では、談合防止対策として、「電子入札を導入していること」「工事内訳書の提出を求めていること」を理由に、「談合の恐れはない」として、「一位不動」の監視は行っていないとしています。しかし、談合防止策はできるだけ広く丁寧に行うべきであり、「一位不動」への監視もしっかりと行うべきです。

### 苦渋の決断で賛成

日本共産党議員団は、このように疑問が残る今回の入札に関し、綿密に検討しました。

その結果、「疑問が残る入札に対して監視や調査に後ろ向きな市の姿勢は糾弾されるべきである」「しかし、今回の入札が談合の結果であるという証拠が十分ではなく、入札そのものを否定することは妥当ではない」「一日も早い工事着工と完成を待っている地域住民の願いに応えることも重要である」という考えから、大きな疑問を残しながらも、苦渋の決断として契約締結に賛成しました。

## 日頃の猛訓練の成果を披露 6月19日 上越市消防点検

### 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 506 2016年6月26日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
絡 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)  
先 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
平良木哲也 090-1808-6919 (上中田)

消防団の日頃の訓練の成果を披露する「上越市消防点検」が、19日市役所春日野駐車場を会場に行われました。

小型ポンプやポンプ車の操法訓練では、合わせて20の分団がきびきびとした動きで的確に火元に

放水していました。

災害が多発している昨今、こうして献身的に活動している消防団のみなさんの働きは、私たち市民の安全にとって大きな支えです。いっそう大切にしていきたいと思

